



# 学校だより

～創立137周年～

〒331-0057 さいたま市西区中野林225-1

TEL 048-624-4235

FAX 048-624-2280

Web ページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>

令和7年度 2月号 令和8年1月30日 発行

## 地域とつながり、学びを豊かに

さいたま市立植水小学校  
校長 保坂 泰司

3学期が始まって、1ヶ月が過ぎようとしています。寒い中、元気に活動している子どもたちの姿(ドッヂボール、縄跳び等)は、我々教職員にエネルギーを与えてくれます。引き続き、子どもたちには、勉強や運動に活発に取り組んでいってほしいと願います。そして、我々教職員も子どもたちからもらったエネルギーは彼らに還元していかなければならないと考えます。どうぞ、今月もよろしくお願ひいたします。

さて、先月の19日～23日の期間で、本校では「給食週間」(めあて：①調理などにかかる方々への感謝 ②「食」への関心を深める)に取り組みました。期間中には、昔の給食やさいたま市の姉妹友好都市にちなんだ給食を提供しました。また、日頃からお世話になっている調理員さんへ感謝の手紙を書きました。そんな中、5年生が「うえたん(植水たんぼ)」に植え、収穫した「うえたん米」をマリ共和国へ送るための「発送式」が行われました。この日まで子どもたちは、稻の育ち方やお米についての知識を深めてきました。そして、自分たちの住む植水地区で育ったお米に自信をもって、マリ共和国へ送り出すことができました。当日のテレビのインタビューで、ある植水っ子は「マリの人たちに笑顔でお米を食べてほしい」と答えていました。

さらに、20日には、大宮パレスホテル料理長 毛塚智之 氏による「シェフ給食」が行われました。体育館で行われた「シェフ紹介の会」で、毛塚さんは、子どもたちに『食べるときに、おいしかった、おなかがいっぱいになっただけではなく、5つの味覚「甘味、塩味、酸味、苦味、うま味」を感じ、そして五感「視覚、嗅覚、聴覚、触覚、味覚」を使うことを大切にしていってほしい』とおっしゃっていました。つまり、体全体を使って「食べる」ことに臨んで欲しいと。他には、誰と一緒に食べるのかが、おいしく食べるために大切とおっしゃいました。その日の子どもたちの給食時の様子を見ていると、ひと口ひと口いろいろな食材の味を確かめながら、かつ楽しみながら食べていました。給食週間を通して、普段の「食べる」についての興味関心を高めるとともに、理解を深めていってほしいと願います。そして、いつもモリモリ植水っ子、たくましく成長していって欲しいです。さいたま市HPに「食育ナビ」のサイトがあります。ぜひ、チェックしてみてください。

### さいたま市5つの「食べる」



さいたま市食育ナビでは、食育に関する情報を発信しています！